

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 18 年 5 月 25 日 (2006.5.25)

【公開番号】特開 2000-293298 (P2000-293298A)  
 【公開日】平成 12 年 10 月 20 日 (2000.10.20)  
 【出願番号】特願 平 11-101332  
 【国際特許分類】

**G 0 6 F 3/02 (2006.01)**

**A 6 3 F 13/06 (2006.01)**

【F I】

G 0 6 F 3/02 3 4 0 B

A 6 3 F 13/06

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 27 日 (2006.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

操作装置本体と、

前記操作装置本体に対して可動状態で装着された操作手段と、

前記操作手段の前記操作装置本体への動きを規制する規制手段と、

所定の規制条件の成立に基づいて、前記操作手段の動きを規制し、所定の解除条件の成立に基づいて、前記操作手段の規制を解除する制御手段と

を有することを特徴とする操作装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の操作装置において、

前記操作手段は、前記操作装置本体より突出する操作ボタンであり、

前記規制手段は、押し込まれた状態にある前記操作ボタンに係合して前記操作ボタンを突出させなくするストッパと、前記ストッパを駆動する駆動手段とを有する

ことを特徴とする操作装置。

【請求項 3】

請求項 1 記載の操作装置において、

前記操作手段は、前記操作装置本体より突出する操作ボタンであり、

前記規制手段は、前記操作ボタンを前記操作装置本体内に磁力で引き込み保持する機構を有する

ことを特徴とする操作装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の操作装置において、

前記所定の規制条件は、予め制限されている使用回数まで使用したか否かに基づいて設定される

ことを特徴とする操作装置。

【請求項 5】

操作装置本体と、前記操作装置本体に対して可動状態で装着された操作手段と、前記操作手段の前記操作装置本体への動きを規制する規制手段とを有する操作装置の制御方法であって、

所定の規制条件の成立に基づいて、前記操作手段の動きを規制するステップと、  
所定の解除条件の成立に基づいて、前記操作手段の規制を解除するステップと  
を有することを特徴とする操作装置の制御方法。

【請求項 6】

請求項 5 記載の操作装置の制御方法において、  
前記所定の規制条件は、予め制限されている使用回数まで使用したか否かに基づいて設  
定される

ことを特徴とする操作装置の制御方法。

【請求項 7】

操作装置本体と、前記操作装置本体に対して可動状態で装着された操作手段と、前記操作手段の前記操作装置本体への動きを規制する規制手段とを有する操作装置を制御するためのプログラムであって、コンピュータに、所定の規制条件の成立に基づいて、前記操作手段の動きを規制するステップと、所定の解除条件の成立に基づいて、前記操作手段の規制を解除するステップとを実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な情報記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】

上記目的は、操作装置本体と、前記操作装置本体に対して可動状態で装着された操作手段と、前記操作手段の前記操作装置本体への動きを規制する規制手段と、所定の規制条件の成立に基づいて、前記操作手段の動きを規制し、所定の解除条件の成立に基づいて、前記操作手段の規制を解除する制御手段とを有することを特徴とする操作装置によって達成される。これにより、操作者は、操作手段を介してゲームや販売機等の状況を感じることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上述した操作装置において、前記操作手段は、前記操作装置本体より突出する操作ボタ

ンであり、前記規制手段は、前記操作ボタンを前記操作装置本体内に磁力で引き込み保持する機構を有するようにしてもよい。ボタン自体を保持する機構とすることにより、構造をシンプルにすることができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

上述した操作装置において、前記所定の規制条件は、予め制限されている使用回数まで使用したか否かに基づいて設定されるようにしてもよい。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

上記目的は、操作装置本体と、前記操作装置本体に対して可動状態で装着された操作手段と、前記操作手段の前記操作装置本体への動きを規制する規制手段とを有する操作装置の制御方法であって、所定の規制条件の成立に基づいて、前記操作手段の動きを規制するステップと、所定の解除条件の成立に基づいて、前記操作手段の規制を解除するステップとを有することを特徴とする操作装置の制御方法によって達成される。これにより、操作者は事態の変化を操作手段の操作感から知ることができる。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

上述した操作装置の制御方法において、前記所定の規制条件は、予め制限されている使

用回数まで使用したか否かに基づいて設定されるようにしてもよい。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】